

IPM関連剤

コンフューザー<sup>®</sup>V

(Z)-9-ヘキサデセナール	1.0%
(Z)-11-ヘキサデセン-1-オール	0.5%
(Z)-7-ドデセニル=アセタート	5.9%
(Z)-7-ドデセン-1-オール	3.8%
(Z)-11-ヘキサデセナール	24.0%
(Z)-11-ヘキサデセニル=アセタート	19.2%
(Z,E)-9,12-テトラデカジエニル=アセタート	8.1%
(Z)-9-テトラデセン-1-オール	4.2%
(Z,E)-9,11-テトラデカジエニル=アセタート	19.5%

種類名/アルミゲルア・ウワバルア・  
 タイアモルア・ビートアーミルア・リトルア剤  
 農林水産省登録/第23084号  
 (信越化学工業登録)

毒性/普通物\*  
 有効年限/6ヶ月  
 危険物表示/4-3石  
 包装/50本×80

特長

- 性フェロモンの特異的作用によって対象害虫の交尾を連続的に阻害し、害虫の発生を抑制することを目的としています(直接の殺虫作用はありません)。
- 殺虫剤への感受性が低下した害虫にも有効です。
- 本剤の有効成分は微生物等により容易に分解されるため、環境にやさしいです。
- 作物への残留も心配なく、輸出入作物にも使用できます。

適用害虫と使用方法

使用にあたっては必ずラベルを読んで下さい。

作物名	使用目的	適用害虫名	10a当り使用量	使用時期	使用方法
野菜類 いも類 豆類(種実) 花き類・ 観葉植物	交尾阻害	コナガ オオタバコガ ハスモンヨトウ タマナギンウワバ イラクサギンウワバ ヨトウガ	100~200本 (41g/100本製剤)	対象作物の 栽培全期間	作物の生育に支障のない高 さに支持棒等を立て支持棒 にディスペンサーを巻き付け 固定し圃場に配置する
		シロイチモジヨトウ	100本 (41g/100本製剤)		

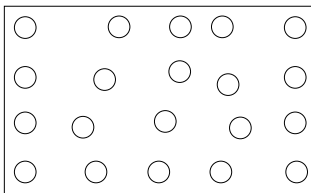
上手な使い方

1. 設置前の確認事項

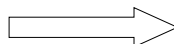
- 本剤に殺虫効果は無いため、施設栽培において本剤設置の前に対象害虫が発生している場合、あらかじめ化学薬剤による防除を実施してください。また、強制換気を行わない施設で使用してください。自然換気を行う場合は防虫ネットを張り、空気の流れを穏やかにしてください。ネットは0.4~4mmの目合いのものを利用し、出入口や側窓、天窗等の各開口部に展開してください。
- 露地栽培では、本剤の対象害虫が加害する作物の栽培圃場だけでなく、それらを含む10ヘクタール以上の栽培地域単位で使用してください。本剤は長距離飛翔の害虫を対象に含んでいるため、10ヘクタール以下では飛び込み虫等の影響で害虫密度が下がらず、効果が発揮されない場合があります。

2. 処理量

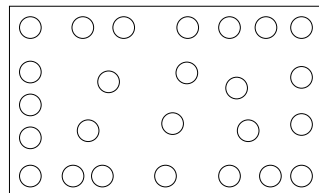
- 施設栽培では、本剤を10アール当り100本とし、圃場内に均等に設置してください。
- 露地栽培では、通常本剤を10アール当り100本とし、圃場の立地条件(傾斜)、周囲の状況や風向き等を考慮に入れて、8割程度を圃場全体にほぼ均等に設置してください。残りの2割程度を圃場の周辺部に処理すると効果的です。



8割を全体に均等に設置



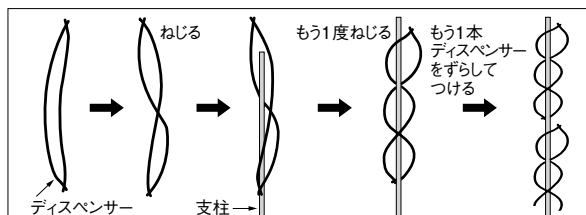
残り2割を  
周辺に設置



10アール圃場

### 3. 処理方法

- 製品受け取り後は必ず冷蔵保存し、開封後3日以内に使いきってください。
- 本剤は作物より高い位置に設置してください。
- ディスペンサーを支柱等に取り付ける方法は色々ありますが、主な取り付け方法（支柱に取り付ける方法）は下記のとおりです。



### 4. 放任園・前作対策

- 圃場周辺に無防除園があるか注意してください。また、前作に対象害虫が好む作物を栽培している場合は、あらかじめ防除を徹底して、害虫密度を下げてください。

#### 使用にあたって

##### ■使用上の注意

- 本剤は、コナガ、オオタバコガ、シロイチモジヨトウ、ハスモンヨトウ、ヨトウガ、タマナギンウワバおよびイラクサギンウワバの各成虫の交尾を連続的に阻害し、交尾率を低下させることによる次世代の密度低下を目的としているので、これらの対象害虫の成虫発生初期から収穫期まで連続的に比較的広範囲な地帯で使用することが望ましいです。
- 対象害虫が高密度に存在する場合には状況に応じて天敵に影響の少ない殺虫剤を併用することが望ましいです。
- 本剤は支柱等に巻き付け、対象地帯に均一になるように設置することが望ましいです。
- 急傾斜地、風の強い地帯等本剤の濃度を維持するのが困難な地域では使用しないでください。
- 外装のアルミ箔袋を開封したまま放置すると有効成分が揮散するので、必ず使用直前に開封し、なるべく使いきってください。やむをえず残った場合には密封し、5℃以下で冷蔵保管してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

##### ■安全使用上の注意

- 本剤は皮膚に対して刺激性があるので、皮膚に付着しないように注意してください。付着した場合には、直ちに石けんでよく洗い落としてください。
- 危険物第四類第三石油類に属するので火気には十分注意してください。

##### ■貯蔵上の注意

- 密封し、火気をさけ、直射日光があたらない冷暗所（5℃以下）に保管してください。

本資料の記載内容は2024年7月25日現在の登録内容に基づいています。